

企業概要



株式会社 宮城総合給食センター

代表取締役 津田孝

(所在地：宮城県仙台市)



当社について

当社は、宮城県仙台市に本社を置き、県内の小中学校の米飯のほかに外食産業、スーパーマーケットの米飯を毎日製造しております。

たくさんの人々に美味しさを感じていただくために、当社では衛生管理を徹底することはもちろん、特許技術による長期常温保存を可能にした「しゃり玉」を外販事業では取扱っております。

食に関する事業を通じて、地域の子どもたちと従業員、そしてそのご家族の皆様が豊かな気持ちとなっていただくことを大切に、地域貢献に努めてまいります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	水質汚染の防止、フードロスの削減
従業員の働きがい	従業員の心の健康保持、障害者雇用の推進
地域社会への貢献	地産・地消の推進、地域のSDGs意識の向上
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築

株式会社 宮城総合給食センター SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2022年6月30日
株式会社 宮城総合給食センター
代表取締役 津田孝

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

特許技術を活用した長期保存や適切な在庫管理を通じてフードロス対策に取り組めます。

▼目標・取り組み内容

- ・排水時は水質浄化を徹底致します
- ・社内ルールに基づいた廃棄物処理を徹底します
- ・外販事業においては生産管理を徹底しフードロス対策に取り組めます



従業員の働きがい

全従業員が性別、年齢に関係なく自分の仕事に誇りを持って働ける職場環境を目指します。

▼目標・取り組み内容

- ・健康管理チェック表の記入、血圧測定を実施しています
- ・障がい者雇用体制を社員一丸となって整えます
- ・健康診断における再検査受診率100%を達成します



地域社会への貢献

地元食材を活用し安心安全な給食を提供し、地域の子供たちの健康維持に取り組めます。

▼目標・取り組み内容

- ・宮城県産品を外販事業に活用します
- ・当社を災害時の避難場所として活用することを目指します



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を構築し、法令遵守を徹底します。

▼目標・取り組み内容

- ・取引先に対する取り組みは誠実で公正な取引を約束します
- ・緊急時に備えBCP対応の策定に取り組めます

